

# 地域密着型金融の取組み状況について ～金融仲介機能のベンチマーク～ (2019年度)

# 地域密着型金融の推進に関する基本方針

## ＜基本方針＞

- ① お客さま・地域のニーズを十分に把握し、応える取組みとします。
- ② お客さま・地域の成長とともにさいしんも成長できる、持続可能な取組みとします。
- ③ 専門性の高い金融機関として、お客さまを支える取組みとします。

# 金融仲介機能のベンチマークについて

金融庁「金融行政方針」では、顧客本位の良質な金融サービスを提供し、企業の生産性向上等を助けることにより、金融機関自身も安定した基盤・収益を確保することが、地域金融機関が生き残るための有力なビジネスモデルであると示しております。事業性評価に基づく融資や、取引先企業の本業支援等、金融仲介機能の質の向上に向けた取組みが重要です。

当金庫では、「地域密着型金融の推進」並びに「地域創生」にかかる取組みを信用金庫の本業・使命と位置づけ、経営計画の中核とするとともに、「質」の高い取組みの実現を目指し、その深化・発展に努めております。

今回は、金融庁より2016年9月に公表された「金融仲介機能のベンチマーク」を用いた客観的な指標を活用し、当金庫独自の取組みを公表するものです。

今後も基本方針に基づく良質なサービスを提供し、《さいしん》独自の価値を作り上げてまいります。

## 「金融仲介機能のベンチマーク」とは

2016年9月、金融庁より金融機関における金融仲介機能の発揮状況を、客観的に評価できる指標として策定、公表されたものです。金融機関は同ベンチマークへの積極的な取組みを通じて、金融仲介機能の質を高め、お取引先のみならず、成長力強化や生産性向上などを実現することを求められています。

「共通ベンチマーク」	全ての金融機関が金融仲介機能の取組みの進捗状況等を客観的に評価するための指標
「選択ベンチマーク」	各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択できる指標
「独自ベンチマーク」	各金融機関が自己評価するうえで、相応しい指標がある場合には独自に設定できる指標

# 金融仲介機能のベンチマーク

基準日:2020年3月31日

## 1-1. 日常的・継続的な関係強化と経営の目標や課題の把握・分析

※与信先 = 融資取引のある法人

### ■ ライフステージ別の与信先数、及び融資額（共通ベンチマーク）

(単位:社、億円)	全与信先	ライフステージ				
		創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数	16,545	1,555	1,587	10,194	723	825
ライフステージ別の与信先に係る 事業年度末の融資残高	6,052	285	733	4,279	158	300

### ■ 中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況（共通ベンチマーク）

条件変更先総数	好調先	順調先	不調先
1,056社	27社	12社	111社

### ■ 中小企業向け融資や本業支援を主に担当している支店従業員数、及び全支店従業員数に占める割合（選択ベンチマーク）

全支店従業員数①	左記業務担当従業員数②	②/①
1,477名	540名	38.6%

### ■ 中小企業向け融資や本業支援を主に担当している本部従業員数、及び全本部従業員数に占める割合（選択ベンチマーク）

全本部従業員数①	左記業務担当本部従業員数②	②/①
565名	67名	11.9%

# 金融仲介機能のベンチマーク

基準日:2020年3月31日

## 1-1. 日常的・継続的な関係強化と経営の目標や課題の把握・分析

### ■ 認定支援機関による経営改善計画策定支援事業における「さいしんモデル」の構築（独自ベンチマーク）

#### 【認定支援機関による経営改善計画策定支援事業】

中小企業の多くは、自ら経営改善計画等を策定することが難しい状況の中、こうした中小企業等を対象に、中小企業経営力強化支援法に基づき認定された経営革新等支援機関（＝認定支援機関）が、中小企業等の依頼を受けて経営改善計画などの策定支援を行うことにより、中小企業等の経営改善を促進するための事業です。

#### 【さいしんモデル】

- ・当金庫が「代表認定支援機関」となり、埼玉県中小企業診断協会から紹介を受けた中小企業診断士に事業デューデリジェンスや損益計算書等の作成を依頼し、当金庫は財務デューデリジェンス及び計画の取り纏めを行うという連携した経営改善計画書策定支援スキームを確立しています。

2019年度申請件数	(内、さいしんモデル利用件数)	申請件数累計（2013年度より）	(内、さいしんモデル利用件数)
8件	3件	131件	69件

### ■ 中小企業再生支援協議会の利用先数（選択ベンチマーク）

REVIC	中小企業再生支援協議会利用先数
0先	28先

# 金融仲介機能のベンチマーク

基準日:2020年3月31日

## 1-1. 日常的・継続的な関係強化と経営の目標や課題の把握・分析

### ■「ささらの会」を活用した取引先企業の成長支援（独自ベンチマーク）

若手経営者や後継者を対象に「経営者としての意識の醸成」、「経営管理手法と実務知識の習得」、「人脈ネットワークの形成」を通じた経営力向上支援により、地元中小企業の発展、地域の活性化に資することを目的として、2009年よりさいしん若手経営塾を開講しています。2017年4月20日に更なる経営力の向上、継続的な異業種交流を図るため、若手経営塾の卒業生を対象に会員組織「若手経営者の集い ささらの会」を設立しました。具体的な活動として、実務家講師による講演会の開催、会員企業視察研修、ビジネスマナー研修等の開催により取引先企業の成長支援を図ります。

2019年度は、さいしんビジネスフェア2019へのブース出展および個別企業の18社出展を行いました。また、北陸ビジネス街道2019視察と高岡信用金庫経営者組織との交流会、関東経済産業局との連携による会員向けビジネスセミナー、新型コロナウイルス関連支援情報の発信等も実施いたしました。

設立時の会員数	2019年度当初の会員数	2019年度実施事業の実績
248名	164名	・ 4月23日 第2回通常総会・特別講演会
		・ 6月12日 さいしんビジネスフェア2019へのブース出展および個別企業18社出展
		・ 6月24日 会員企業向けビジネスマナー研修
		・ 9月11日 北陸ビジネス街道視察・高岡信用金庫経営者組織との交流会
		・ 10月10日 会員向けビジネスセミナー RESAS及びBCPセミナー（浦和）
		・ 10月17日 会員向けビジネスセミナー RESAS及びBCPセミナー（熊谷）
		・ 11月8日 特別講演会・懇親会
		・ 12月25日 会員企業社員向け教育トレンドセミナー
		・ 2020年2月以降 新型コロナウイルス関連支援情報を発信

# 金融仲介機能のベンチマーク

基準日:2020年3月31日

## 1-2. 最適なソリューションの提案

※与信先 = 融資取引のある法人

- 当金庫が関与した創業支援件数（共通ベンチマーク）

### 当金庫が関与した創業支援件数

603件

- 地元中小企業融資における無担保融資先数、及び無担保融資額の割合（選択ベンチマーク）

地元中小与信先数①	地元中小向け融資残高②	無担保融資先数③	無担保融資残高④	③/①	④/②
16,359先	5,756億円	12,135先	2,205億円	74.2%	38.3%

- 地元中小企業与信先のうち、根抵当権を設定していない与信先の割合（選択ベンチマーク）

地元中小与信先数①	根抵当権未設定先数②	②/①
16,359先	12,929先	79.0%

- 中小企業向け融資のうち、信用保証協会保証付融資額の割合、及び100%保証付融資額の割合（選択ベンチマーク）

中小企業向け融資残高①	保証協会付融資残高②	100%保証付融資残高③	②/①	③/①
5,770億円	1,291億円	9億円	22.4%	0.2%

# 金融仲介機能のベンチマーク

基準日:2020年3月31日

## 1-2. 最適なソリューションの提案

※与信先 = 融資取引のある法人

- 経営者保証に関するガイドラインの活用先数、及び全与信先数に占める割合（選択ベンチマーク）

全与信先数①	ガイドライン活用先数②	②/①
16,545先	2,731先	16.5%

- 全与信先に占める金融商品の販売を行っている先の割合、及び行っていない先の割合（選択ベンチマーク）

全与信先数①	金商販売先数②	金商未販売先数	②/①	③/①
16,545先	407先	16,138先	2.5%	97.5%

- 運転資金に占める短期融資の割合（選択ベンチマーク）

運転資金額①	短期融資額②	②/①
3,901億円	1,360億円	34.9%



# 金融仲介機能のベンチマーク

基準日:2020年3月31日

## 1-2. 最適なソリューションの提案

- 一般社団法人さいしんコラボ産学官を活用した取引先企業の経営力向上支援（独自ベンチマーク）
  - ・ 大学、企業ならびに公的研究機関等の参加による研究会活動が数多く立ち上げられるような環境を醸成するとともに、産学官連携による研究開発を促進し、新商品・新産業の創出により地域経済の活性化を図るため会員企業表彰を実施しています。2019年度は17件のエントリーから優秀賞2社、特別賞3社、埼玉県地域産業資源活用賞1社を選出。今後のマッチング、販路拡大に協力いたします。

2019年度表彰企業	表彰企業累計（2017年度より）
6社	72社

- ・ 2016年8月、特許庁委託事業「地方創生のための事業プロデューサー派遣事業」の事業プロデューサー派遣先機関として選定され、事業プロデューサーが派遣されました。当初の目的を達成し3年度に亘ったこの事業は終了しましたが、引き続き嘱託して中小企業支援に取り組み2019年度の支援企業数は80社（うち継続支援企業数43社）となっており、中小事業者の特許活用、販路拡大の促進につながっております。
- ・ 学生アイデア発表会については主催3年目の昨年度は大学5校、専門学校1校から過去最多の13チームが参加して事業化を目指すプレゼンテーションが行われ、5チームが入賞。県内中小企業を中心に全アイデアを対象として事業化を推進いたします。

# 金融仲介機能のベンチマーク

基準日:2020年3月31日

## 1-2. 最適なソリューションの提案

- 業務提携または、企業・団体との連携によるお取引先企業の販路拡大支援（独自ベンチマーク）
  - ・ さいしんビジネスフェア2019の開催による販路拡大支援  
来場者数 15,098人、出展社数 265団体、  
商談件数 2,850件、商談件数及び単発取引 42件、商談継続中 360件
  - ・ 中小企業基盤整備機構の提供するWEB上のマッチングシステム「J-GoodTech」の活用  
3月末現在 当金庫推薦企業 387先
  - ・ お取引先企業の課題解決を目的に、関東経済産業局や外部連携機関等と連携し、県内10か所でキャッシュレスセミナーを開催。また、県内3か所で補助金セミナー等を開催。

# 金融仲介機能のベンチマーク

基準日:2020年3月31日

## 1 - 3. 事業性評価の取組み

※与信先 = 融資取引のある法人

### 【事業性評価の定義】

お客さまとの継続的な対話を通じて、お客さまの事業内容や事業の成長可能性などを適切に評価し、財務内容や担保・保証に依存することなく融資や助言等の企業支援を行うこと。

#### ■ 事業性評価に基づく融資を行っている与信先数、及び融資残高（共通ベンチマーク）

先数	融資残高
3, 001先	1, 824億円

#### ■ 上記計数の全与信先数、及び当該与信先の融資残高に占める割合（共通ベンチマーク）

先数	融資残高
18.1%	30.1%